

こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

愛知県では産業空洞化対策と県内中小企業の海外進出支援と、相反する両施策に取り組んでいますが、海外進出の実態調査を行うため、仲間の議員数人と共に、先日タイ王国に行ってまいりました。

現地では、ジェットロや日本政策金融公庫の駐在員事務所、更には海外進出企業に直接お邪魔させていただき、アセアン諸国の経済状況や進出企業の『生の声』を伺う事ができましたが、特にタイにおいては、インフラ整備が急速に進められている関係上、企業進出が他国より容易であり、そのため世界各国の企業が既にタイに進出しており、ビジネスチャンスは日本より豊富である点を改めて痛感させられました。

しかしながら、タイでのビジネスを通じ、国内の仕事も増加したとの事例を多く伺う事が出来た一方で、「現地における日系企業同士の競争が激化しており、海外進出したからといって仕事がある訳ではない。」との意見も多くいただく事が出来ました。

また、今現在タイ経済は好調であるものの、賃金水準の上昇やタイ国内の少子高齢化に伴う労働力の不足、更にはタイ国内需要の縮小などが懸念されており、タイが海外進出先のベスト国である期間は予想よりも短いかもしれず、アセアン諸国に関する経済状況は常に注視する必要があります。

従って、情報収集については今後も積極的に行い、民間企業の皆様へ広く情報発信していく事が必要であります。一方で、本社機能や開発機能、更には製造部門の中核機構を如何に国内に留めるかも行政としての重要な課題であるため、海外進出を支援しつつも、国内産業の活性化に向けて、これまで以上の各種支援策の充実に向けて、今回の海外調査の経験を生かし、取り組んでまいります。



愛知県議会議員

こたま よしかず

樹神 義和 